

株主のみなさまへ

No. 18
2013年12月

第35期 事業報告書

平成24年10月1日 ▶ 平成25年9月30日



Special Teaching and Education by Professionals

株式会社 **STEP** 株主通信

“子どもたちを元気にする塾”



CONTENTS／目次

STEPスクール地図	1
今年のTOPICS	2
What's STEP	4
STEP by STEP	5
業績の推移	6
損益計算書の要旨	7
貸借対照表の要旨	9
株主資本等変動計算書の要旨	10
株式の状況	11
第36期業績予想	12
会社の概要・株主メモ	13

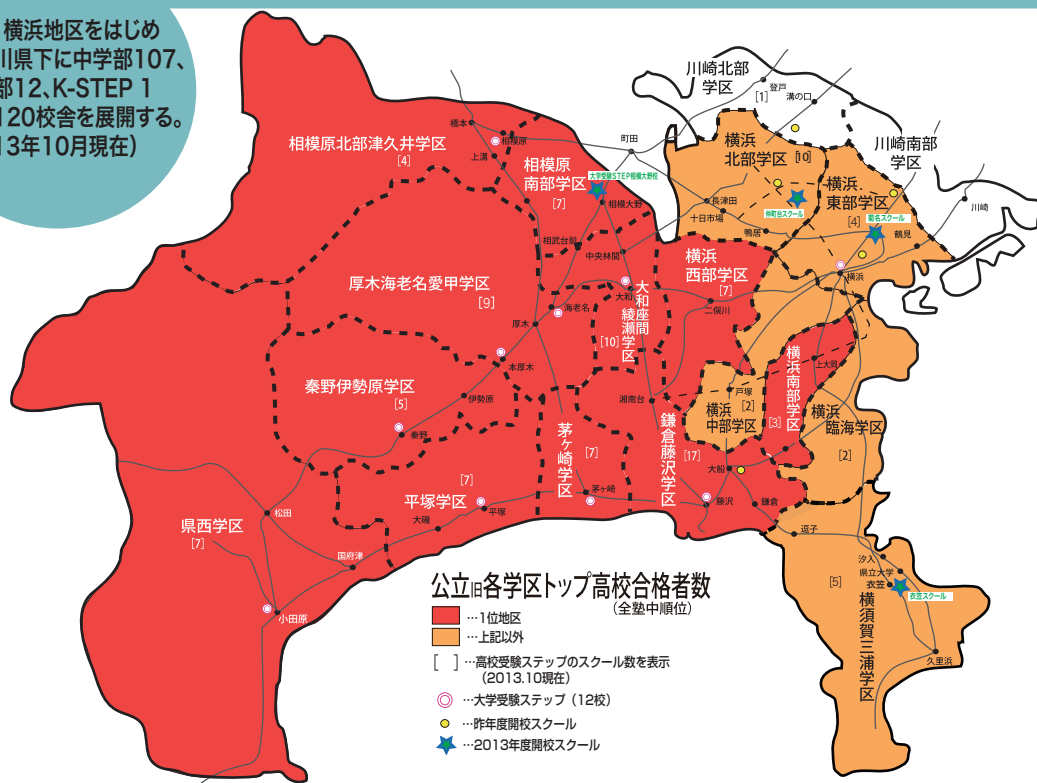
学習塾のサービス格付けで、 ステップが総合評価で最高ランク

社団法人
全国学習塾協会認定

AAA

＊サービス評価とは、学習塾に関する情報が開示され、情報が分かりやすく説明され、適正な広告宣伝・勧誘方法が行われ、契約関係が適切に締結され、情報保護も心配のない学習塾としての評価です。

湘南、横浜地区をはじめ
神奈川県下に中学部107、
高校部12、K-STEP 1
の計120校舎を展開する。
(2013年10月現在)



鎌倉藤沢学区
長後スクール
善行スクール
藤沢スクール
藤沢朝日スクール
藤沢中央スクール
ライフタウンスクール
辻堂東スクール
大船スクール
湘南深沢スクール
湘南台スクール
用田スクール
辻堂北スクール

茅ヶ崎学区
辻堂西スクール
茅ヶ崎北スクール
茅ヶ崎東スクール
寒川スクール
茅ヶ崎小和田スクール
平塚学区
平塚西スクール
平塚東スクール
平塚南スクール
二宮スクール
大磯スクール
横須賀三浦学区
逗子スクール
県立大学前スクール
汐入スクール
久里浜スクール
衣笠スクール

横浜各学区
瀬谷スクール
三ツ境スクール
三俣川スクール
鶴ヶ峰スクール
弥生台スクール
立場スクール
戸塚スクール
港南北スクール
杉田スクール
十日市場スクール
鶴居スクール
中川スクール
センター南スクール
北山田スクール
こどもの国スクール
ふれあいの丘スクール
本郷台スクール
センター北スクール
白楽スクール
仲町台スクール
菊名スクール

厚木学区・大和学区
中央林間スクール
鶴間スクール
厚木スクール
厚木西スクール
厚木東スクール
愛川スクール
海老名スクール
さがみ野スクール
高座渋谷スクール
綾瀬スクール
大和スクール
座間スクール
相武台スクール
南林間スクール

相模原南部学区
相模原北部学区
相模原南部学区
相模大野スクール
橋本南スクール
相模原南スクール
上溝スクール
東林間スクール
原当麻スクール
古淵スクール
秦野伊勢原学区
伊勢原スクール
秦野スクール
渋沢スクール
東海大前スクール

県西学区
鴨宮スクール
小田原スクール
富水スクール
松田スクール
鴨宮北スクール
南足柄スクール

大学受験STEP

大学受験STEP 藤沢校
大学受験STEP 大和校
大学受験STEP 茅ヶ崎校
大学受験STEP 海老名校
大学受験STEP 平塚校
大学受験STEP 小田原校
大学受験STEP 秦野校
大学受験STEP 相模原校
大学受験STEP 厚木校
大学受験STEP 横浜校
大学受験STEP 大船校
大学受験STEP 相模大野校

Hi-STEP

Hi-STEP 湘南スクール
Hi-STEP 鎌倉スクール
Hi-STEP 大和スクール
Hi-STEP 二俣川スクール
Hi-STEP 茅ヶ崎スクール
Hi-STEP 海老名スクール
Hi-STEP 横浜南スクール
Hi-STEP 青葉台スクール
Hi-STEP 小田原スクール
Hi-STEP 秦野スクール
Hi-STEP 中央林間スクール
Hi-STEP 相模原スクール
Hi-STEP 戸塚スクール
Hi-STEP 横浜スクール
Hi-STEP 大船スクール
Hi-STEP 金沢文庫スクール
Hi-STEP 相模大野スクール
Hi-STEP 厚木スクール
Hi-STEP 宮前スクール
Hi-STEP 日吉スクール

K-STEP

K-STEP 藤沢

ステップ

平成24年10月26日

東証一部に 上場しました

ステップは平成24年10月26日(金)より東証一部に上場いたしました。今後も、小・中・高校生の成長に少しでも寄与できるよう、今まで以上に努力してまいります。



平成24年10月26日、東証一部に上場。

中学部

神奈川県公立トップ校

湘南・厚木など1745名合格で全塾中No.1! 東京学芸大附属高校に44名(うち外進生37名)合格!

高校入試合格実績、さらに伸張!

東京学芸大附属高校に44名合格(うち外進生37名)

ステップ生の通学圏内で最難関のひとつ、国立東京学芸大学附属(外進生)の合格実績で、5年連続して全塾中No.1となりました。2013年度入試では、外部進学生用の一般枠102名のうち、37名が合格しています。

2013年度
東京学芸大附属
高校合格発表風景



神奈川県公立トップ高校1745名合格!

神奈川県の公立トップ高校に1745名が合格。これはステップから県内公立高校に合格した生徒の約40%に相当します。県内最難関・湘南への180名合格(定員の約5割)をはじめ名門・厚木に205名(定員の57%)や横浜の伝統校・希望ヶ丘など公立トップ校10校で塾別合格者数No.1です。

「神奈川県公立トップ作戦」進行中!

1986年に湘南で合格者数トップ(53名合格)として以来、神奈川県各学区のトップ校合格者数No.1を目指す「トップ作戦」を進めてきました。湘南では28年間、No.1を継続中。1990年に大和、93年に茅ヶ崎北陵、97年に横浜の希望ヶ丘、2000年に秦野、01年に平塚江南、02年に小田原で全塾中No.1とし、激戦を続けてきた厚木で02年に初の単独トップ、相模原も03年にと、相次いでトップを奪取し、以降、追隨を許さず全塾中No.1を継続しています。また横浜のトップ高校・柏陽でも7年連続トップを継続中です。09年春に初めて3スクールを開校した横須賀地区では、トップ校の横須賀に58名(昨年33名)が合格。着実に合格者を増やしています。

高校部

大学合格実績、着実に向上

高校部においても、大学進学実績は着実に向上しています。今春は国公立に100名、早慶上智に158名、理大MARCHに612名が合格しています。今後も多様化した受験形態に対応するシステム・環境作りを進めてまいります。

スクールの開校・移転

中学部
高校部

中学部・高校部で新規開校

授業ビデオ配信「e-STEP」のコンテンツが充実

ステップ 生徒数2万1千人へ

2013年度は、ステップの生徒総数(中学部、高校部、個別指導の合計)が期中平均で2万1千人を超えました。

新スクール開校、新校舎建設!

中学部 横浜北部や横須賀などに3スクールを開校!

2013年度は、中学部は横浜北部に仲町台スクール、東横線沿線に菊名スクールを開校。さらに横須賀市内4校めの衣笠スクールを開校しました。また東海大前スクールと二俣川スクールを移転開校しました。2012年10月には、茅ヶ崎スクールとハイステップ茅ヶ崎スクールを移転開校しています。

高校受験ステップ
衣笠スクール ▶



高校部:12校舎体制に

高校部 相模大野校を開校!

高校部では昨年度の大船校に続き新たに相模大野校を開校し、12校舎体制となりました。現役合格を応援する高校部は、受験形態の多様化に対応したシステム作り、環境作りを進めています。

授業ビデオ配信「e-STEP」を拡充

中学部・高校部ともにコンテンツがさらに充実

授業映像を社内ネットワーク、及びインターネットを使って塾生対象に配信するシステムを構築。予習や復習、あるいは授業を欠席したときなど、いつでも自宅でその単元を学習できます。中学部・高校部ともにコンテンツを拡充しており、その数は、中学部で500以上、高校部で2000以上、一通り基本形を完成しています。ステップ主催で行った高校ガイダンスなど、イベントの様子も配信しています。

「STEPパス」システムを活用

中学部:入退室をメールでお知らせ

生徒の入退室をメールでご家庭にお知らせするシステム「STEPパス」を中学部全スクールに設置。通塾の行き帰りを心配されていた保護者の方から大変好評です。また、お知らせ等や、災害時には臨時メールを一斉にご家庭に送ることもできます。

高校部:生徒とのメールによる連絡網を構築

高校部では各校舎で、STEPパスシステムを活用した生徒へのメール連絡網を設置し、より密なフォロー体制を構築しています。

●ブルキナファソへ「栄養失調児センター」への資金援助●

ステップでは教師・スタッフをはじめ生徒たちの協力も得て、ボランティア活動に取り組んでいます。その一つがアフリカ・ブルキナファソの「栄養失調児センター」運営維持費の資金援助です。ステップでは1997年から、この活動を続けてまいりました。

ブルキナファソとはアフリカ内陸にある世界で最も貧しい国の一つで、近年はまったく雨の降らない年が続き、深刻な飢餓がー帯をおそっています。「栄養失調児センター」では、経済事情により病院や健康センターなどの有料施設に行くことのできない人々を受け入れ、無料で治療を行いつつ、食料の自給自足を目指し、母子たちとともに耕作などの共同作業を行っています。

「ブルキナファソ栄養失調児センター」のホームページ <<http://www.cren.jp/>>

1 高校受験ステップ (中学部)

1.専任教師制が主軸 充実した教師研修システム

非常勤講師を相当数採用している学習塾が多い中で、ステップは質の高い教師養成のために専任教師主軸という基調を貫いています。生徒をサポートするには質の高い授業が決め手だと考え、研修に力を入れ、教師同士で繰り返す模擬授業を中心に、技術と学力を磨き合い、高技術をもった専門職として育てています。例えば英語では、ネイティブのコーチのもと、リスニング、会話などのレベル別研修が行われており、教師の実力向上を目指しています。

2.コミュニケーションを大切に生徒指導 1クラス定員 小学生16名 中学生20名

生徒全員の顔と名前が分かるように、1クラスの定員は小学生16名、中学生20名に。毎日生徒たちが「今日も来て良かった」と思えるように、授業内容、教材などの工夫を繰り返しています。質の高い授業こそ、子どもの減少や競争に負けない最強の戦略。生徒や保護者の信頼を財産とし、神奈川県全域への密度の濃い展開を進めています。

高校受験ステップ
研修の様子



2 大学受験ステップ (高校部)

生徒参加型の少人数制の授業

大学受験ステップは、大手予備校タイプの大人数教室で教師が壇上に立って一方的に話す形の授業ではなく、双方向のコミュニケーションを大事にしています。高校部は「生徒参加型の少人数制の授業」がモットーです。

難関大学合格をめざすスーパークラス・チャレンジクラスの他、ハイレベルクラスやスタンダードクラス、さらには高校対応のクラスや個別指導など、多様なクラス編成で現役高校生の希望に応じています。高校対応のクラスは数学などで各高校のカリキュラムに対応した授業を行います。ロスの少ない合理的なシステムで現役合格をバックアップします。

大学受験ステップ
大船校



3 本部—各スクール校舎を繋ぐ

ノーツ・ネットワーク・システムがフル稼働

ステップの全スクールと本部各部署は、ノーツ・ネットワーク・システムで結ばれています。中学部・高校部とも毎日、各部署からの連絡、スクールや教師からの様々な情報等が、各スクールと本部、各スクール間でスムーズに行き来し、素早い対応が可能になっています。また、各教科のデータベースに、全ての教師がアクセスでき、その教科に関する意見や、質問、討議が可能です。

スピードアップがもっとも顕著なのが、講習時に毎日行う全教科のテスト集計と結果発表。各スクールで入力されたテストの点数がノーツを通してデータ管理室に集められ、本部コンピュータで、順位、偏差値などが出され、スクールに送信されます。そして、出力され、次の日には生徒一人ひとりに渡されます。つまり、毎日、小中学生約2万人分のテスト結果と、それぞれのステップ内での順位が翌日には生徒個人の手に届くというスピードです。

印刷配送センターを移転拡充

2013年9月、印刷配送センターを移転しました。ステップでは、2万人を超える生徒が使う教材の大半を自社で作成・印刷しています。また県内120校舎に各種印刷物等を車両輸送で配送しています。その印刷と配送の拠点が「印刷配送センター」です。今回の移転によりその機能をいっそう拡充させていきます。

▲印刷配送センター



4 個別指導ステップ (K-STEP)

一人ひとりの希望に合わせた授業

2002年秋に個別指導専門スクールを藤沢に開校。さらに高校部各校舎にも個別指導専門のK-STEPを設置。マンツーマンでの授業を基本とし、特定教科の集中学習を希望する人、私立高校に通う人等々、生徒一人ひとりに対応したカリキュラムで授業を進めています。さらに中学生対象のマンツーマンの講座も設置しています。

ワクワク理科実験教室

湘南海岸に理科実験合宿施設 “湘南シーサイド・ラボ”

子どもたちが理科実験を通して自然の不思議に興味をもち、科学の楽しさを実感してくれたら、と湘南シーサイド・ラボを設置。充実した理科実験室を備えた生徒と教師のための宿泊できる研究・研修所として、96年春に開設しました。

理科実験室では、「ワクワク理科実験教室」や「ワクワク理科実験合宿」を開いています。2013年度は、6回の理科実験教室、理科実験合宿を実施。そのうち6月、8月、10月に計3回の親子理科実験教室を開催し、親子そろって理科のおもしろさに触れる試みを行っています。



理科実験合宿施設
湘南シーサイド・ラボ



ワクワク天体観測

厚木西スクールに設置された天体望遠鏡は、コンピュータ・フル制御の最新鋭システムです。宇宙の不思議に興味シンシンの生徒たちが、土星の輪や火星、星雲などを観望しています。親子での参加も歓迎しています。



高校別入試ガイダンス

合格への道筋を鮮明にするために、ステップが総力をあげて開催する「高校別入試ガイダンス」。各高校に焦点を絞って入試結果を徹底的に解析し、特色検査の対策をはじめとして公立新制度入試への合理的作戦などを紹介します。私立ガイダンスも実施しています。



ステップ主催 オープンキャンパス

生徒・保護者対象に、ステップ主催で当該の私立高校で開催しています。日大藤沢高校、東海大相模高校などで実施してきました。高校の先生にご説明いただき、さらにステップの教師が詳しい情報をお伝えします。

日大藤沢高校での
オープンキャンパス
の様子

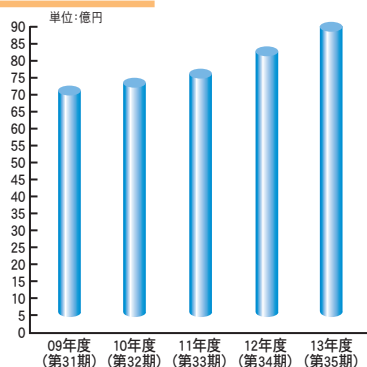


小6 卒業記念ラリー

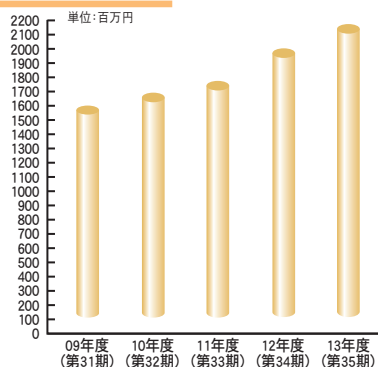
小6生は、中学生になってから役立つ「小6卒業記念ラリー」を行っています。計算問題、ローマ字の読み書き、世界の国名、ことわざ、歴史上の人物、県庁所在地、短歌俳句など、「中学校で役に立つ！身になる！」10のテーマをラリー形式で進めます。すべてクリアした生徒はさらに日本の旧国名70や、慣用句100など5つのテーマがある「スーパースターラリー」にチャレンジできます。



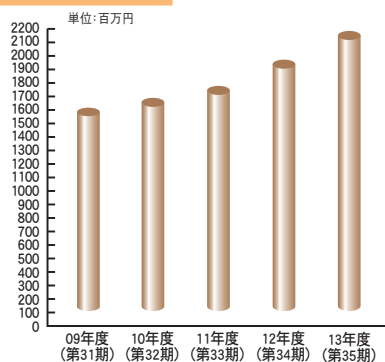
売上高



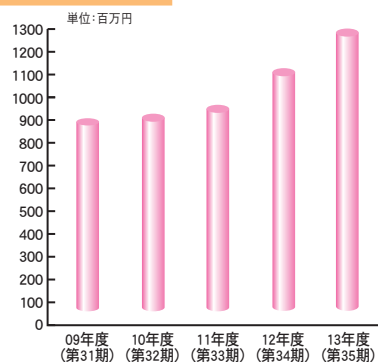
営業利益



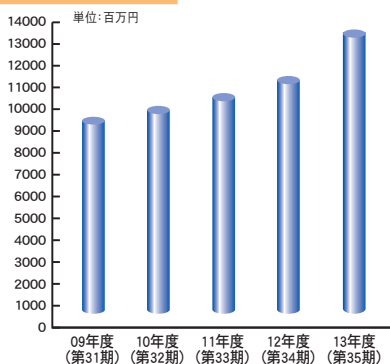
経常利益



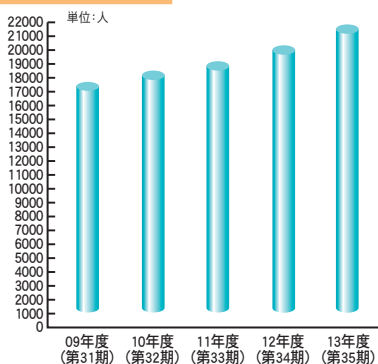
当期純利益



純資産



生徒数



生徒数は、期中平均の在籍生徒数です。

当期業績の概要

当社の学習塾としての特徴は、教師の専門化・高技術化を基軸として日々向上に努めている授業の質と、その技術力を基盤とした進学面での実績です。

平成25年9月末日において、中高全教師567名中、正社員教師531名、専任講師25名、講師11名（うち8名はネイティブ講師）となっており、正社員率で93.7%、専任比率で98.1%に達しています。これらの教師陣が継続的な自己研鑽を重ね、教務力の強化を図り、小・中・高校生（小5～高3）を対象に、「勉強を通して自分を伸ばしたい」「成績を上げたい」「勉強する面白さを体感したい」「志望校合格に近づきたい」「上手な勉強法を身に付けたい」「苦手教科を克服したい」等の様々な学習ニーズに応え、勉強の過程と結果を全体として大切にしながら、日々生徒達の成長に貢献できる授業の実践に全力で取り組んでいます。

合格実績は当社の活動の成果のすべてではありませんが、努力の一端を示す結果ではあると思います。今春の神奈川県の高校入試は公立高校の新入試制度の初年度に当たり、緊張の中での幕開けとなりましたが、当社の小中学生部門から神奈川県公立トップ高校20校に1,745名が合格しました。これは過去最高的人数であり、県内公立高校に合格したステップ生全体の39.7%に相当します。結果、これら公立トップ高校の半数に当たる10校において、また公立トップ高校の中で新制度の目玉である特色検査を実施した11校のうち6校において、塾別の合格者数で当社がトップとなっています。また、ステップ生の通学圏内で最難関と位置づけられる国立東京学芸大附属高校への今春の合格実績は、同校の外部進学生用の一般枠102名のうち37名を占め、5年連続で各塾中トップの実績を残しています。

（現役）高校生部門についても、大学進学実績は好調を維持し、国公立、早慶上智等の難関校をはじめ、いわゆるMARCH+東京理科大といった人気校への合格者数も堅調です。少子化と大学定員の拡充を背景として、大きな環境変化が進行中の（現役）高校生部門ですが、当社は部活動や学校行事を含む多面的な高校生活の充実と、志望大学への現役での合格の両立という現役高校生ならではの切実なニーズに応えるべく、授業内容の充実と、柔軟なシステム作りにより全力をあげています。また、小中学生部門を有した学習塾としての強みを募集面で活かしながら、ブランド力の強化を図っています。

今後も学習塾専業としての経営資源を神奈川県に集中投下し、小中学生部門、（現役）高校生部門ともに、「日々指導技術の研鑽を怠らず、一人一人の生徒と向き合い、学力向上に真摯に取り組んでいく」という当社の基本的な方向性にそって、教師一人一人の授業力アップに恒常的に力を注ぎ、教師層の厚みを増し、組織力の向上に努め、全体の教務力、スクール運営力の強化を図っていきます。

生徒数の推移は、東日本大震災の影響を一部感じさせる面は残っているものの、小中学生部門、（現役）高校生部門ともに全体としては大震災前のペースを取り戻しており、塾生総数で見た当期の平均は前年同期比5.7%増となっています。

当事業年度の新規展開は、小中学生部門3スクール（横須賀市の衣笠、横浜市の仲町台と菊名）と（現役）高校生部門1校（相模原市の相模大野）の計4か所、当社のドミナントエリアを充実する形となりました。その結果、スクール数は現状、小中学生部門が107スクール、（現役）高校生部門は12校、個別指導部門1校の計120校です。

以上の結果、当期の売上高は8,804百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は2,117百万円（前年同期比8.9%増）、経常利益は2,143百万円（前年同期比8.6%増）、当期純利益は1,268百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

損益計算書（単位：百万円）

*百万円未満切捨

科 目	前期	当期	増減
売上高	8,244	8,804	560
売上原価	5,738	6,024	286
売上総利益	2,506	2,780	273
販売費及び一般管理費	562	663	101
営業利益	1,944	2,117	172
営業外収益	126	120	△5
受取利息	0	0	△0
受取家賃	89	87	△2
その他	36	33	△3
営業外費用	98	94	△3
支払利息	29	19	△10
賃貸費用	62	60	△2
その他	5	15	9
経常利益	1,973	2,143	169
特別利益	49	—	△49
固定資産売却益	49	—	△49
特別損失	81	70	△11
固定資産除却損	16	—	△16
減損損失	64	70	5
税引前当期純利益	1,940	2,073	132
法人税、住民税及び事業税	808	806	△2
法人税等調整額	19	△1	△21
当期純利益	1,112	1,268	155

部門別売上高

事業部門別の売上高は、次のとおりです。

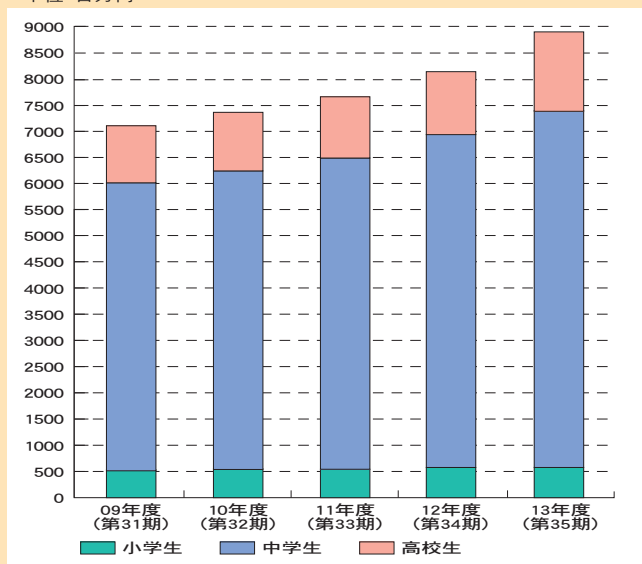
小中学生部門

小中学生部門は生徒数が期中平均で5.2%の増加等により、7,321百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

現役高校生部門

現役高校生部門は生徒数が期中平均で8.6%の増加等により、1,483百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

単位：百万円



部門別売上高明細表

(単位：百万円)

区 分		前 期		当 期		比較増減 金 額
		売 上 高	構成比 (%)	売 上 高	構成比 (%)	
小中学生部門	小 学 生	557	6.8	567	6.4	10
	中 学 生	6,351	77.0	6,753	76.7	402
	小 計	6,909	83.8	7,321	83.2	412
現役高校生部門		1,335	16.2	1,483	16.8	147
合 計		8,244	100.0	8,804	100.0	560

貸借対照表(単位:百万円)

*百万円未満切捨

科目	前期	当期	増減	科目	前期	当期	増減
資産の部				負債の部			
流動資産	1,858	2,079	221	流動負債	2,027	1,733	△294
現金及び預金	1,545	1,813	268	1年内返済予定の長期借入金	897	762	△135
売掛金	58	59	0	未払金	113	72	△40
有価証券	55	-	△55	未払法人税等	463	422	△41
たな卸資産	16	22	6	その他	552	475	△76
前払費用	103	107	4	固定負債	1,691	886	△804
繰延税金資産	75	73	△1	長期借入金	1,291	562	△729
その他	6	4	△1	その他	399	324	△75
貸倒引当金	△1	△1	△0	負債合計	3,718	2,619	△1,098
固定資産	13,106	13,913	806	科目	前期	当期	増減
有形固定資産	12,491	13,304	812	純資産の部			
建物及び構築物	5,290	5,762	472	株主資本	11,261	13,371	2,109
土地	6,928	7,207	278	資本金	1,329	1,778	449
その他	272	334	61	資本剰余金	1,402	2,072	670
無形固定資産	22	18	△4	資本準備金	1,402	1,851	449
投資その他の資産	592	590	△2	その他資本剰余金	-	220	220
投資有価証券	12	19	6	利益剰余金	8,696	9,521	825
繰延税金資産	139	133	△6	利益準備金	137	137	-
差入保証金	413	413	△0	その他利益剰余金	8,559	9,384	825
その他	27	24	△2	別途積立金	97	97	-
資産合計	14,965	15,993	1,027	繰越利益剰余金	8,461	9,286	825
				自己株式	△165	△0	165
				評価・換算差額等	△14	2	16
				その他有価証券評価差額金	△14	2	16
				純資産合計	11,247	13,373	2,126
				負債・純資産合計	14,965	15,993	1,027

株主資本等変動計算書 (単位:百万円)

*百万円未満切捨

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
						別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	1,329	1,402	—	1,402	137	97	8,461	8,696
当期変動額								
新株の発行	449	449		449				
剰余金の配当							△443	△443
当期純利益							1,268	1,268
自己株式の処分			220	220				
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	449	449	220	670	—	—	825	825
当期末残高	1,778	1,851	220	2,072	137	97	9,286	9,521

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	△165	11,261	△14	△14	11,247
当期変動額					
新株の発行		898			898
剰余金の配当		△443			△443
当期純利益		1,268			1,268
自己株式の処分	165	386			386
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			16	16	16
当期変動額合計	165	2,109	16	16	2,126
当期末残高	△0	13,371	2	2	13,373

株価推移 (週足)

資料: 東京証券取引所



株式の状況 (平成25年9月30日現在)

発行済株式の総数 16,670,000株

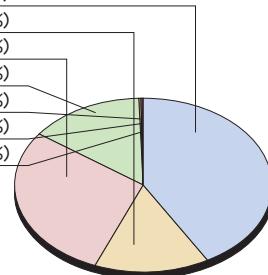
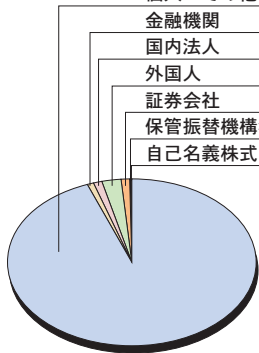
株主数 2,349名

所有者別株式分布

単位: 千株

個人・その他	2,215名	(94.29%)
金融機関	22名	(0.93%)
国内法人	24名	(1.05%)
外国人	59名	(2.51%)
証券会社	27名	(1.14%)
保管振替機構名義株式	1名	(0.04%)
自己名義株式	1名	(0.04%)

個人・その他	6,953	(41.71%)
金融機関	2,406	(14.43%)
国内法人	4,848	(29.09%)
外国人	2,385	(14.30%)
証券会社	75	(0.45%)
保管振替機構名義株式	1	(0.01%)
自己名義株式	2	(0.01%)



来期の見通し

順調に推移している生徒人数ですが、この背景にはまず、先述した長年の蓄積の成果である授業力、合格実績面での強みが今春からスタートした神奈川県公立高校の新入試制度においても発揮されていることがあると思われます。また、新制度では学力検査が全受験生に必須となっただけでなく、記述式問題の増加などにより難度がアップしたため、現状では受験学年である中3生を中心に通塾ニーズが高まる傾向にあります。

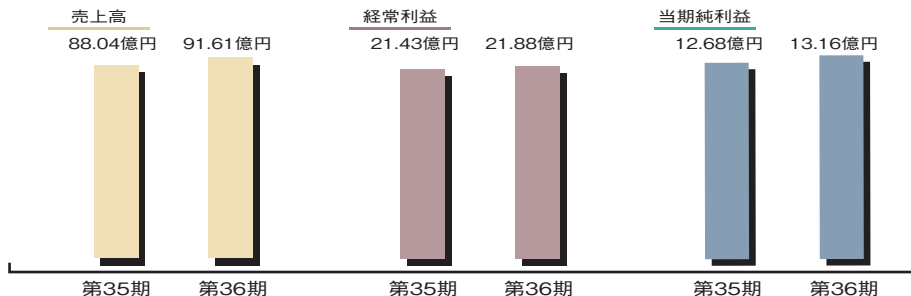
一方、中長期的なスパンで見た場合、安易に楽観的な見通しを持つものではありません。基本的な流れとしての少子化は神奈川県でも継続して進行しており、それを背景に学習塾間の競争は厳しくなりこそすれ、緩やかになることは予想しがたい環境です。また、今春スタートした公立高校の新入試制度が、小中学生の生徒達、そのご家庭にどのように受け止められ、影響を広げていくのか、今後についてはまだ判断できる状況ではありません。新入試制度においては、学力検査、面接、内申の各選抜資料の比重や特色検査の採否など運用レベルでの対応次第で高校ごとの選抜事情が異なってくるため、これまでも増して柔軟な学習指導、詳細な進学情報が求められています。今後も状況変化に機敏に対応しながら、授業とシステムの充実に努めてまいります。また、中長期的視点からも、マーケットの深耕に力を尽くします。

当社が注力している現役高校生部門は、今後とも授業内容の高品質化と進学指導力の向上に努め、「学校生活の充実と大学受験への実力養成」という、現役高校生ならではの二つの大きなニーズへのバランスのとれた対応を推し進めます。

なお、昨今の社会情勢や景気動向がご家庭に与える影響についても注意深く見守り、実態の把握に努める必要があると考えています。

来春の新スクールの開校は、小中学生部門の4スクール（横浜市の戸塚、東戸塚、センター南、鎌倉市の大船）を予定しています。

通期の業績は、売上高9,161百万円（前年同期比4.0%増）、経常利益2,188百万円（前年同期比2.1%増）、当期純利益1,316百万円（前年同期比3.7%増）を見込んでいます。



業績予想数値は、平成25年11月1日に東京証券取引所市場第一部へ提出した決算短信に記載したものです。

会社の経営の基本方針

当社は、「子供たちを元気にする塾」をコンセプトに「楽しくて、かつ力がつく」授業をモットーとしてきました。生徒たちの健全な成長を学習面で応援し、生徒たちの学力向上を通して社会に貢献することが設立以来の基本理念です。

これを実現するため、以下の5項目を経営の基本方針としています。

- ①学習塾専門に徹し、経営資源を専門分野に集中的に投下する。
- ②スクールは、神奈川県内に集中して展開する。
- ③学習サービス内容の高品質化を不断に追求する。
- ④県内公立トップ高校への進学実績No.1を堅持し、さらに難関国私立高校への合格実績を一層向上させる。
- ⑤公立高校生を中心にした地元現役高校生をサポートする大学受験STEPの発展を推進する。

当社は生徒たちの学力向上をサポートし、その成果を通して社会へ貢献することを基本理念としています。それを実現するためには「高い教務力を持った専門的な人材による高品質の学習指導サービスの提供」が重要であり、それを担う有為な人材の採用・育成が経営戦略の要となります。そのため、人材採用・育成の専門チームを組織し、積極的な採用、育成活動をコンスタントに行っています。

神奈川県では、最近、入試や学区制度の相次ぐ改革、大学進学実績の向上、教育内容の多様化等、公立高校の復権が進んでいます。当社の小中学生部門は、公立高校の基盤が比較的強固な地域を中心にドミナント展開を行ってきたことが強みとなり、この公立高校の復権を追い風としています。

現役高校生部門は、大学入試が実質的な全入化に近い状況の中で、学校生活の充実と大学受験への対応力養成という現役高校生ならではの二つの大きなニーズへのバランスのとれた対応が課題です。一人一人の多彩な高校生活の状況を丁寧に把握した上で学習指導を行う体制の構築、受験形態の多様化に対応したシステム作り、環境作り等に全力でチャレンジしているところです。今後とも小中学生部門と並ぶ経営の柱として、現役高校生部門の発展を図ります。

商 号 株式会社ステップ
証券コード 9795
本 部 〒251-0052 藤沢市藤沢602番地
TEL 0466-20-8000(代)
事業内容 ■高校受験STEP
小5から中3までの学習・受験指導
■大学受験STEP
高1から高3までの現役高校生対象の大学受験指導
ス ク ール 神奈川県内 120スクール
教材研究課 藤沢市湘南台2-1-19
印刷配送センター 藤沢市石川6-26-21

COMPANY DATA
創 業 昭和50年1月
設 立 昭和54年9月
資 本 金 17億7833万円
代表取締役社長 龍井郷二
社 員 数 821名(正社員619名、その他202名)
営業地域 神奈川県内

株主メモ

決 算 期 9月30日
定 時 株 主 総 会 12月
期末配当金基準日 9月30日
中間配当金基準日 3月31日
1 単元の株式数 100株

公告の方法 当社ホームページに掲載します。
<http://www.stepnet.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事 務 取 扱 場 所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

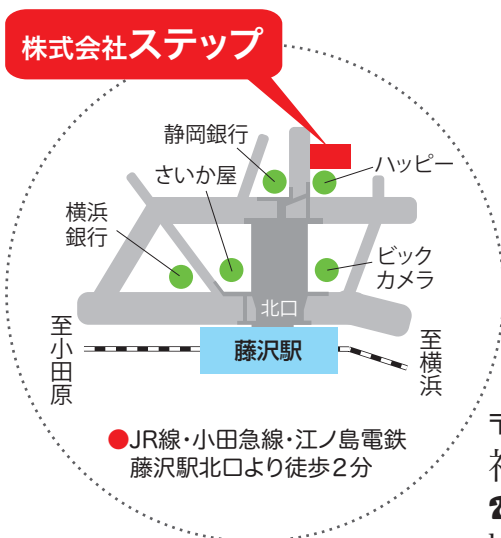
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましては、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

(お知らせ)

特別口座に関する住所変更、単元未満株式買取請求、振替申請および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、右記株主名簿管理人三井住友信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル
0120-782-031 (受付時間 平日9:00~17:00)
- ホームページ
<http://www.smtb.jp/personal/agency/>

株式会社 **STEP** 株主通信



〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢602

☎0466-20-8000(代)

<http://www.stepnet.co.jp/>